経営比較分析表(令和5年度決算)

群馬県桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報					
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上~500床未満	非設置					
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2					
直営	25	対象	ド透Ⅰ未訓ガ	救臨が感災地輪					
人口 (人)	建物面積(㎡)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置					
-	34, 089	非該当	非該当	7 : 1					

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)	
420	-	-	
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)	
-	4	424	
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)	
370	-	370	

当該病院値(当該値) 類似病院平均值(平均值) 【】 令和5年度全国平均

グラフ凡例

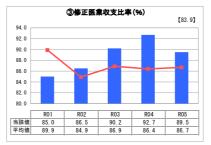
※1 ド・・・人間ドック 透・・・人工透析 I・・・ICU・CCU 未・・・NICU・未熟児室 訓・・・運動機能訓練室 ガ・・・ガン (放射線) 診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性











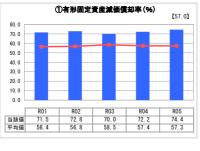






2. 老朽化の状況









東田 四 1010101余 の 土機能分化・連携強化 (後来の再届・ネットワーク化を含む)					
-	年度	-	年度	-	年度

地域において担っている役割

当院は桐生医療圏で唯一の公立病院であり、圏域内の急性期医 療、がん医療、周産期医療、救急医療、災害医療を担う地域中核 病院である。脳卒中などのハイリスク患者や急性増悪時の患者の 受け入れを積極的に行い、高度で質の高い急性期医療を提供する 役割、がん医療において外科療法・放射線療法・化学療法など複 数の治療法を組み合わせた集学的医療を実践する役割や、急性期 経過後の回復期段階にある患者や高齢の患者に対して、適切な医 療を持続的に提供できるよう「地域包括ケア病棟」及び「回復期 リハビリテーション病棟」を積極的・効果的に活用し、在宅へ復 帰できるよう医療連携を推進する役割を果たしている。訪問看護 室を設置し、利用者の希望に沿った療養生活を支援している。さ らに不採算部門である周産期医療および災害医療を継続的に提供 ていく体制を確保する役割を果たしている

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・患者数の減少に伴い、入院・外来収益とも前年比より減収と なった。

・①経常収支比率はコロナ関連補助金等の減少により、前年比 10.9%減少したが、類似病院平均値よりも2.0%上回る結果となっ た。②医業収支比率も類似病院平均値よりも上回った。

⑤診療単価前年比は入院単価が減少。⑥外来単価は増加した。 ④病床利用率はほぼ前年同率だが、類似病院平均値となってい る。 ⑧材料費対医業収益比率は前年比1.2%増加。類似病院平均値 よりは下回っている。

・ ⑦職員給与費対医業収支比率においては、1.3%増加。今後も類 似病院平均値になるように常勤及び非常勤職員数の適正化に取り 細ま:..

2. 老朽化の状況について

・今後も予想される様々な設備投資について、中・長期的な計画 に基づいて計画的に更新を実施しているが、経年劣化による修繕 等の費用の増加が予想される。

・特に施設面の老朽化が進んでおり、①有形固定資産減価償却率 は前年比2.2%増加し、類似病院より17.1%高い水準にあり今後計 画的な施設更新等を検討する必要がある。また、②器械備品減価 償却率は前年比3.4%増加し、類似病院より5.7%高い水準にあ

・1床あたりの有形固定資産はほぼ前年同様だが、類似病院平均値 より低い状態が続いている。

全体総括

今後も地域住民に必要とされる病院となるため常勤医師の確保 を最優先課題とするとともに、地域包括ケア病棟及び回復期リハ ビリテーション病棟を効果的に活用し、在宅復帰できるよう医療 連携を推進し、訪問看護室の発展にも尽力していく。

また、病院経営において一層の経営努力・効率化を進め地域医 療構想を踏まえた役割の明確化を行い、地域医療機関との相互連 携・機能分担を強化し、病病連携、病診連携及び福祉・介護機関 との連携も強化していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。